

全国養護教諭連絡協議会 第17回研修会

全国養護教諭連絡協議会 第17回研修会

養護教諭が、学校保健活動を推進していくうえで役立つ保健室経営、健康教育、最新の医学情報、統計処理の仕方などについて研修を深め、さらなる資質向上を図ることを目的として、平成26年7月31日(木)から8月2日(土)に、日本青年館に於いて、第17回研修会が開催されました。3日間とも満席で、熱気あふれる研修が行われました。

7月31日(木)【保健学習・保健指導】

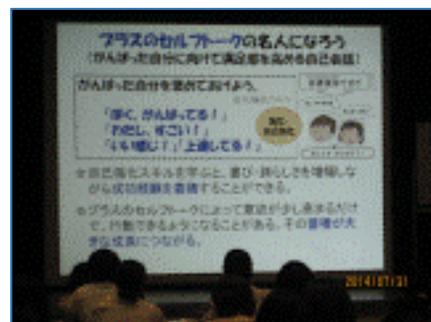
講義 「自己実現を目指す健康教育」

～生活習慣改善への動機づけ、行動変容を促す5つヒント～

講師 埼玉大学 教授 戸部 秀之 先生

講義の内容

- 健康教育は自己実現(夢をかなえる)ための土台づくり
- 夢実現のために不可欠なこと＝意欲と努力を維持する
意欲と努力を維持するためのヒント
 - ①何事も土台が肝心 ... 元気な体・元気な心
 - ②やる気が出る目標 ... ゴールの見通しのある目標
 - ③セルフモニタリング ... チェック&振り返り
 - ④意欲を高める ... 背中を押すセルフトーク
 - ⑤サポートが支える ... 周囲の人の励まし
- 保健授業づくりの押さえどころ
学習指導要領解説の読み方のポイント
- 保健学習における知識を活用した学習活動とは
課題を見つける
解決方法を見つける
生活や事例と比較、関係づけをする
- 自己効力感を取り入れた「性に関する指導」の実際



参加者の声

- ・知識はあるが行動に結びつかない…常に思っていたことなので、理論(意欲・目標設定など)に裏付けられた目的(行動変容)を目指すことができる授業を作っていきたいと思う。
- ・自己効力感を高めることが意欲を高め、行動変容につながるということがわかった。そのために成功体験をさせること、励ましや教示が大事だと感じた。
- ・行動科学の理論に基づいたアプローチ方法(どの段階でつまづいているのかを把握して支援していく)を詳しく説明していただき、授業実践へ意欲が高まった。
- ・「セルフモニタリング」の話はとても参考になり、使っているチェックシートの改善にも役立つ。
- ・健康支援モデルの図が理解しやすく、勉強になった。
- ・学習指導要領解説の読み取り方のポイントは、今後の参考になった。
- ・評価基準の疑問点がすっきりと解決できた。

8月1日(木)【医学情報】

**講義 「もう一人では困らない！養護教諭のフィジカルアセスメント
病院受診のタイミングと正しい応急処置について」**

講師 花見川中央クリニック 院長 北垣 毅 先生

講義の内容

- 頭部打撲の対応(保健室で診るべきポイント)
- 外傷の応急処置(保健室でできること)
- 眼球打撲
- 脳震盪の症状と対応
- けいれん発作の対応



参加者の声

- ・日頃判断に迷う頭部打撲や眼の外傷について、わかりやすく教えていただき、参考になった。
- ・けがの観察のポイントや応急手当、病院受診の基準など、とてもわかりやすく明確に説明していただき、充実した4時間だった。
- ・経験が浅く、日頃の応急手当について不安や疑問に思うことがあるが、たくさん学んだ。
- ・脳震盪やてんかんの対応については、職員間で共通理解を図ろうと思った。
- ・講義を受けて、これまでより自信をもって見たてができるようになると思った。
- ・「できなかったことよりできたことを評価してみよう」という言葉は、とてもうれしかった。

**講義 「食物によるアナフィラキシー事故発生！
あなたは適切に対応できますか？」**

**講師 昭和大学医学部 小児科学講座
今井 孝成 先生**

講義の内容

- 食物アレルギーの対応について
 - ・正しい知識、正しい診断に
基づいた必要最小限の除去と正しい対応
- 即時型食物アレルギーのメカニズム
- アナフィラキシー症状と対応
- エピペン注射の演習



参加者の声

- ・食物アレルギーについて詳しく教えていただき、とても勉強になった。対応について整理し、保護者との面談でもしっかりと話し合っていきたいと思った。
- ・アナフィラキシーを含む食物アレルギーの対応について、正しい知識をもち、組織的に対応することの大切さを学んだ。
- ・食物負荷検査をせず、長い間必要のない除去をしている場合があることを認識した。医学は常に進歩しているので、新しい情報を得ることは大切だと思った。
- ・アレルギー専門医の正しい診断を受けることが、子供、保護者、学校にもよいことがわかった。
- ・正しいタイミングでエピペンを使えるように、定期的に校内研修を行うことが必要だと思った。

8月2日(土)【保健室経営・情報処理】

講義 「組織的に機能する保健室経営」

講師 安来市立母里小学校 校長 荊尾 玲子 先生

講義の内容

- 保健室経営について
 - ・保健室経営計画の必要性
 - ・学校経営の視野にたった保健室経営を...
- 夢・出会い・感動・感謝
- 学校での協調と連携を生み出すために必要なこと
- 養護教諭に問われる力量と要素



参加者の声

- ・信念と情熱と行動力をもって仕事をする事の大切さを教えていただいた。
- ・保健室経営は、養護教諭一人で行っているのではなく、様々な方々の協力があるこそだと改めて思った。
- ・養護教諭の立場から子供たちを育てていくための実践は、工夫すればいろいろできると考えさせられた。
- ・「言葉じりをとらえるな。感情をつかめ！」という言葉に共感した。目に見えないことに思いやることのできる感性は、子供たちを心身両面から支援する養護教諭には欠かせないと思った。
- ・養護教諭に求められる要素を再認識し、学校、養護教諭っていいなと思い、エネルギーを得た。

講義 「アンケート調査の計画と分析・応用」

講師 統計数理研究所 准教授 土屋 隆裕 先生

講義の内容

- アンケート調査の計画
 - ・質問用紙で回答率が変わる
 - 回答選択肢の順番・表現方法・数
 - ・質問文作成の原則
 - ・質問項目の配列順序の原則
- アンケート調査の分析と利用
 - ・誤差、平均・中央値とパーセンタイル、標準偏差



参加者の声

- ・初めてこのような内容の講義を受けた。本当に楽しかった。数字と人間の心理…ものすごく面白かった。またぜひ学びたい。
- ・養護教諭の職務と統計分析は切り離せない。アンケート調査の質問文、考察、活用方法なども教えていただき、参考になった。とても興味深い講義だった。
- ・研究をするにあたってアンケートを作成するときは、集計する作業ばかりに気を使っていたが、アンケートを作成する段階でのルールが理解できた。
- ・統計というと難しいイメージが強いが、土屋先生の説明がとてもわかりやすく、少し身近で取りかかりやすいものになった気がする。
- ・アンケートの作成や読み取りについて疑問に思っていたことが、いくつもスッキリしてよかった。